霞ヶ浦高等学校附属中学校

令和3年度 第2回 一般入学試験問題 (学業獎学生採用試験)

(1月30日 実施)

算 数

試験時間 45分

注 意

- 1 この問題用紙は、「はじめ」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 「はじめ」の合図があったら、最初に受験番号と氏名を書きなさい。
- 3 問題を読むときは、声を出してはいけません。
- 4 答えは、すべて解答欄に書きなさい。
- 5 試験中に計算機(時計についているものもふくむ),携帯電話やスマートフォンなどの 使用はできません。
- 6 答えが分数になる場合は約分をすること。

受 験 番 号	氏 名

次の計算をしなさい。

(1) $12 + 4 \times 9$

(2) $70 - 42 \div 14$

(3) $94 - 5 \times (23 - 63 \div 7)$

(4) $27.82 \div (2.8 + 3.7)$

 $(5) \quad \frac{4}{5} - \frac{1}{2} - \frac{1}{4}$

(6) $\frac{1}{4} \times \frac{3}{5} \div \frac{2}{5}$

答え[

答え [

答え[

答え[

答え[

答え[

(7)
$$\left(\frac{2}{5} + \frac{2}{3}\right) \times \frac{3}{4}$$

答え[

(8) $0.9 - \frac{5}{12} \div \frac{3}{4} \times \frac{3}{10}$

答え[

2.

次のこにあてはまる数を入れなさい。

(1)
$$(50 -) \div 14 = 2$$

答之[

 $(2) \quad \left(7 - \boxed{}\right) \times \frac{2}{3} = 4$

答え[

次の にあてはまる数を答えなさい。ただし、分数で答える場合は、約分する	こと。		
(1) 5 km は mである。			
(2) 30分は 時間である。	答え	[]
(3) 1500 mLは Lである。	答え	[ĵ
4.	答え		J
次の にあてはまる数を答えなさい。ただし、分数で答える場合は、約分する (1) 9 は2の 倍である。	こと。		
(2) 300円の10%は 円である。	答え	[J
(3) 人の150 %は120人である。	答え	Ü.]
	欠ら	ſ	ì

5	

ひろしさんは自分の洋服と、	弟の誕生日プレゼントを買うためにショッピングモールに来ている。	このとき,	次の問い
に答えなさい。			

(1)	ひろしさんは洋服屋さんで,	Tシャツを2枚	と 1 足 250 円の靴で	を2 足買った	ところ,代金	の合計は3700円であ
った	こ。Tシャツ1枚の値段を求め	かなさい。				

答え []

(2) ひろしさんは、最初に 10000 円を持っていたが、すべての買い物をすませたあとに残っていた金額は最初に 持っていた金額の $\frac{1}{8}$ となった。弟の誕生日プレゼントの合計はいくらだったか求めなさい。

答え [

たつやさんは、家から 2000 m 離れた図書館へ行き勉強をしてから、途中にある本屋さんでノートを買って帰る予定である。このとき、以下の問いに答えなさい。



(1) たつやさんは分速 80 m の速さで図書館に向かい 8 時 40 分についた。たつやさんは何時何分に家を出たのか求めなさい。

答え [

(2) たつやさんは帰るときに雨が降りそうだったので分速 100 mの速さで走って帰ることにした。 図書館を 10 時 40 分に出て、途中で本屋さんに 20 分いて 11 時 8 分に本屋を出た。図書館から本屋までの距離を 求めなさい。

答え [

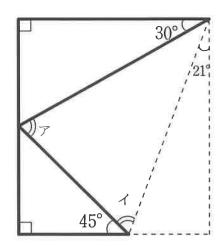
右の図は、2種類の三角定規を組み合わせたものです。 このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 角アの大きさを求めなさい。

答え [

1

(2) 角イの大きさを求めなさい。

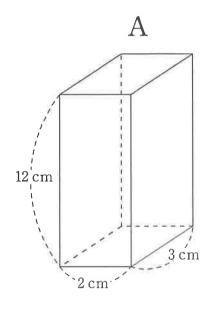


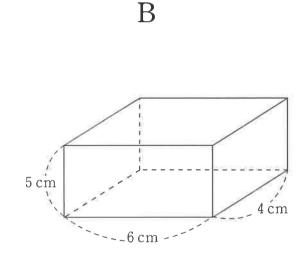
答え [

1

8.

下のような2つの立体Aと立体Bがある。次の にあてはまる数を答えなさい。





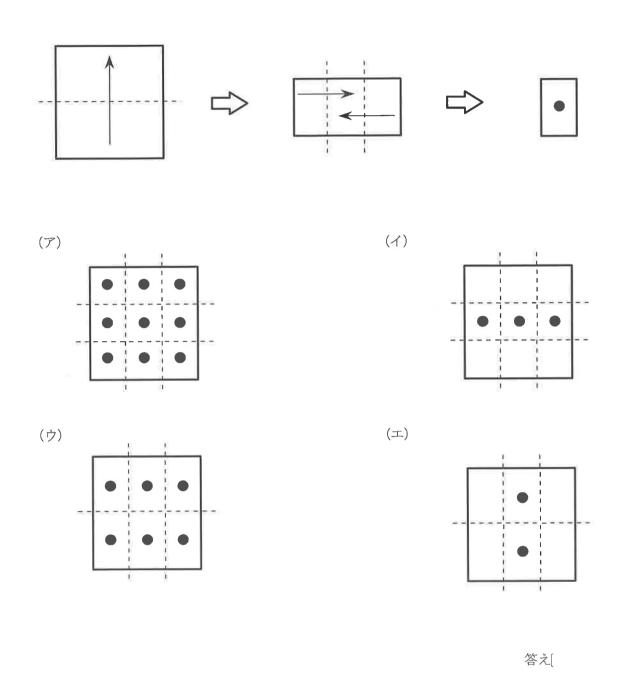
(1) 立体Aに満水になるまで水を入れて、立体Bにうつしかえたところ、底から cmの高さまで入った。

(2) 立体Bの表面積は cm² である。

答え[

下の図のように円をいくつか使い、ぶどうの絵を描いていく。1段目から1つずつへらしていき、その段に円が1つに なったら終わりとする。このとき、次の にあてはまる数を答えなさい。 1段目 2段目 3段目 4段目 個の円を描くことになる。 (1) ぶどうの絵を1つ描くとき、1段目の円を7個にすると全部で 答え[(2) ぶどうの絵を1つ描くとき、全部で55個の円を描いた。1段目の円は 個であった。 答え[(3) 同じぶどうの絵を全部で3つ描いたとき、円の数は全部で63個であった。1段目の円の数はそれぞれ 個 である。

下の図のように正方形の紙がある。これを等分になるように、たてに1回、横に2回折り、真ん中に穴をあける。紙を 開いたときどのようになっているかア〜エから選び、記号で答えなさい。



- 1.
- (1) 48

- (2) 67 (3) 14 (4) 4.28 (5) $\frac{1}{20}$ (6) $\frac{3}{8}$ (7) $\frac{4}{5}$ (8) $\frac{11}{15}$
- 2.
- (1) 22 (2) 1 (
- 3.
- (1) 5000 (2) 0.5 $\pm \pi i$ $\frac{1}{2}$ (3) 1.5

- 4.
- (1) 4.5 $\pm \text{ th}$ $\frac{9}{2}$ (2) 30 (3) 80

- 5.
- (1) 1600円 (2) 8750円
- 6.
- (1) 8 時15分 (2) 800m
- 7.
- (1) 75° (2) 66°
- 8.
- (1) 3 (2) 148
- 9.
- (1) 28
- (2) 10 (3) 6

- 10.
- (ウ)